

第 15 回 臨床研究・治験四国協議会

四国から描く治験の未来の羅針盤

～変革期の臨床研究を支える新たな連携と挑戦～



ようこそ、第 15 回 臨床研究・治験四国協議会へ。

本協議会は、臨床研究や治験に関する取り組みを共有し、今後の発展についてともに考える場として開催いたします。

第 15 回という節目の開催となる本年度は、各大学の特色ある取り組みを通じて、多様な視点から、今後の臨床研究・治験について考え、次世代に向けた羅針盤を示す機会としたいと考えております。また、それぞれのテーマに関連した特別講演も予定しております。

四国に限らず多くの方にご参加いただき、新たな発見や連携のきっかけになれば幸いです。

皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

日 程	2026 年 8 月 22 日 (土) 13:00～17:30
会 場	Web 開催 (Zoom)
対 象	臨床試験を実施する研究者、CRC、データマネジャー、スタディマネジャー、モニター、医薬品、医療機器、再生医療等製品の臨床開発部門担当者、臨床試験にご興味のある方 等
定 員	Web 参加者 150 名程度
参加費	無料
参加申込	以下の URL もしくは QR コードよりお申し込みください。 https://forms.cloud.microsoft/r/5XwUPeeckH ※申込〆切：2026 年 8 月 14 日 (金) 17 時



※本協議会は「日本臨床薬理学会認定 CRC 制度による研修会・講習会(2 点)」に承認されています。

協議会プログラム

開催時間	概 要
	総合司会 西岡 妙子（高知大学医学部附属病院 次世代医療創造センター）
13：00～13：10	開会の挨拶 北岡 裕章（高知大学医学部附属病院 病院長）
セッション1 AIとともに拓く臨床試験の新たなかたち 座長：蘆田 真吾（高知大学医学部附属病院 次世代医療創造センター長）	
13：10～13：25	一般演題1（香川大学） 演題：「臨床研究計画書への生成 AI 活用について」 演者：横井 英人（香川大学医学部附属病院 臨床研究支援センター長）
13：25～14：10	特別講演1 演題：「AI による病院業務の効率化と患者経験向上の可能性」 演者：前田 琢磨（ハッシュピーク株式会社 代表取締役）
セッション2 変革期の治験を支える実装と制度対応 座長：石井 健介（高知大学医学部附属病院 次世代医療創造センター）	
14：10～14：25	一般演題2（愛媛大学） 演題：「治験業務支援システム導入について」 演者：乗松 真大（愛媛大学医学部附属病院 臨床研究支援センター）
14：25～14：40	一般演題3（徳島大学） 演題：「徳島大学病院が主管となる再生医療等製品の医師主導治験(FIH 試験)の支援について」 演者：前田 和輝（徳島大学病院 臨床研究推進部）
14：40～15：25	特別講演2 演題：「日本の治験環境をどう変えていくか？」 演者：佐藤 淳子先生（PMDA 執行役員（信頼性調査等部門担当））
15：25～15：40	休憩
セッション3 災害に備える！治験の継続と連携 座長：久保 正幸（高知大学医学部附属病院 次世代医療創造センター）	
15：40～15：55	一般演題4（高知大学） 演題：「災害時治験対応力の向上に向けた災害ワーキンググループの活動報告」 演者：元木 幹子（高知大学医学部附属病院 次世代医療創造センター）
15：55～16：40	特別講演3 演題：「能登震災から考える、医療と地域のレジリエンス ー 平時のつながりが、非常時の支えになるー」 演者：坂本 那香子（ハッシュピーク株式会社 ディレクター）
16：40～17：25	特別講演4 演題：「災害時における治験の BCP」 演者：佐野 敬子、波田野 史子、東 敬宏（ISEI-PJ）
17：25～17：30	閉会の挨拶 蘆田 真吾（高知大学医学部附属病院 次世代医療創造センター長）

本協議会は「日本臨床薬理学会認定 CRC 制度による研修会・講習会（2 点）」として承認されています。参加・修了証明書取得にあたっては、入・退出時間のログで確認いたします。途中入退室等で参加時間が 4 時間を満たさない場合は、参加・修了証明書は発行できませんので予めご了承ください。

【お問い合わせ】

高知大学医学部附属病院 次世代医療創造センター
TEL : 088-880-2627（平日 9 時～17 時）
E-mail : im67@kochi-u.ac.jp